

2011 IARU Global Summer Program 派遣学生 学内募集要項

東京大学が加盟している大学連合 IARU (International Alliance of Research Universities : 国際研究型大学連合) では、学生交流の一環として、夏期の一定期間に英語による学部レベルの授業を開講し、学生を相互に派遣するグローバル・サマー・プログラム (GSP) を実施しています。

今回は、2011年夏期に、世界トップクラスの大学において実施される GSP への派遣学生を募集します。派遣を希望する学生は、学内募集要項及び IARU GSP ウェブサイト (<http://www.iaruni.org/gsp>) 等をよく確認の上、所属する学部・研究科等を通じて申請してください。

記

1. IARU 加盟大学 (10 大学)

オーストラリア国立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (ETH Zurich)、シンガポール国立大学、北京大学、カリフォルニア大学バークレー校、ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、東京大学、イェール大学

2. 開講コース日程、詳細及び費用等

コース日程、詳細及び所要費用等は各大学により異なる。各コースの詳細については、IARU GSP ウェブサイトで確認すること。

3. 参加資格

- ・ 申請時及び派遣期間を通じ、本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。
(休学者を除く)
- ・ 参加コースを受講するのに必要な英語能力を有すること。
(TOEFL PBT 600/iBT 100 を目安とする)

※コースによっては別途条件 (学年・専攻分野等) が設けられている場合がある。

4. 派遣学生数

本学からは、各大学 2 名程度。各大学の受入可能人数によっては 3 名以上の場合もある。

5. 参加費の補助

派遣学生の内、希望者には本学から参加費の一部を補助する予定。参加費の補助を希望する学生は、申請書にその理由を簡潔にまとめて記入すること。参加費の補助額は、コース参加費用及び本学での IARU GSP 予算状況を勘案の上、決定する。

6. 申請方法

「7. 提出書類」の書類を揃え、所属部局が指定する方法により提出すること。提出期限は所属部局

によって異なる。

※IARU ウェブサイト等に記載されている期日（3月7日）とは異なるので注意すること。

【参考】How does the GSP Application process work? (<http://www.iaruni.org/gsp/application>)

7. 提出書類

- ① 2011 IARU Global Summer Program 申請書（所定様式・和文）
（東京大学 IARU GSP ウェブサイト上からダウンロード可能）
- ② 2011 IARU Global Summer Program Application Form（所定様式・英文）
（IARU GSP ウェブサイト上からダウンロード）
- ③ 上記②の電子データ
- ④ 志望理由書（様式任意、日本語・英語どちらでも可とする。フォントサイズ 11pt とし、A4 サイズ 1 ページ以内でまとめること。所属及び氏名を明記すること。）
- ⑤ 成績証明書（英文。原則として、大学入学後全学期のもの。）
- ⑥ 英語能力を証明できるもの（語学能力試験成績証明書の写し等）
※詳細については「8. 英語能力」を確認すること。

8. 英語能力

参加コースを受講するのに必要な英語能力は、TOEFL PBT 600/iBT 100、またはそれに相当するものを目安とする。ただし、学内選考は志望理由等も含めて総合的に行われるので、目安に満たない場合でも申請は妨げない。

原則として、語学能力を証明できるものとして、次のいずれかを提出すること。

- ・以下の語学能力試験（1つ以上）を受験している場合は、その成績証明書の写し：
TOEFL PBT/iBT/CBT、TOEIC、IELTS、実用英語技能検定
- ・その他の語学能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その語学能力試験等に関する説明文書（様式任意。ただし A4 サイズ）を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の語学能力試験への成績換算表等を含めること。
- ・語学能力試験等を受験していない場合は、参加コースを受講するのに必要な英語能力を有していることを説明する理由書（様式任意。ただし A4 サイズ）を提出すること。（例：英語圏の高等学校を卒業、等）

9. 選考

本学において 3 月中旬に学内選考で派遣候補学生を決定の上、本学から各大学に推薦する。学内選考では、提出された書類を審査し、希望順位を勘案して各大学への派遣候補学生の決定を行う。なお、学内選考のために面接審査を行うこともある。面接を実施することになった場合、面接日時等は学生本人に直接連絡する。学内選考の結果は申請のあった部局長あて通知する。

派遣候補学生が先方大学にて受入れが決定された場合には、学生は 4 月上旬に受入大学から直接連絡があるため、指定日までに参加意思の回答等を行うこと。

10. 報告書

派遣終了後、参加報告書を必ず提出すること。この報告書は IARU GSP の活動を示すものとして、学内及び学外への広報等に使用する。

11. その他

- ① IARU GSP では原則学部レベルのコースが提供されるため、学内選考にあたっては学部学生を優先する。ただし、学年制限等の条件が設けられているコースについてはその限りではない。
- ② 申請の際には、平成 23 年度夏学期の授業・試験日程を各自事前に確認の上、履修において不利益とならないよう注意すること。また、担当・指導教員等がいる場合には、本プログラムに申請（派遣学生になった際には参加）することを事前に報告し、了承を得た上で 2011 IARU Global Summer Program 申請書の「担当・指導教員確認欄」に署名を受けること。上記に該当する教員等がない学生は、所属部局担当係にその旨報告・相談すること。
- ③ 参加の際には、所属部局の指示に従い、「留学」等の海外渡航に必要な手続きを行うこと。
- ④ 本プログラムによりコースを履修し所定の要件を満たした場合には、各大学から学部レベルの単位が授与されることもある。その取得した単位を本学での単位として認定できるかどうか、そのための手続き等については、所属部局担当窓口にて事前に確認及び相談すること。
- ⑤ 派遣決定の際には、各自海外旅行傷害保険に加入すること。

【参考 HP】

IARU Global Summer Program ウェブサイト：<http://www.iaruni.org/gsp>

東京大学 IARU GSP ウェブサイト：http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/IARU_GSP/index.html